

告 白

4月25日から5月11日にかけて、本町議会主催による議会報告会を各公民分館6地区で実施致しました。本年1月に制定した議会基本条例に基づく初めての開催で、住民からは総計90名の方々に参加を頂き、議会の仕組みや役割について説明をし、その後意見交換を行いました。

Q…固定資産評価

について、建物が建っている場合より、更地にした方が土地の税額が上がったが。

大崎の跡地利用は。

A…民間所有のため、跡地利用については現在協議していない。

Q…第一中学校の跡地は、災害や救急

用ヘリポートとして活用出来ないか。

いあるか。

A…玄米出荷量は把握できないが、平成23年度生産数量で2688.4t、作付面積が589.5haである。

ついて

A…さんふらわあを利用した交流、グリーンツーリズム事業による交流、人と人との交流により活性化を図っている。

A…建物が建っている場合は軽減措置があるため、建物を解体した場合は土地の税額が上がることもある。

Q…野方インター

は設置されるのか。町有地の利用法は。

Q…地元業者を優

遇しない入札方法に疑問がある。

Q…菱田中・第一中

学校の跡地利用は。

Q…AZ出店はど

うなった。

Q…災害発生時の

避難の方法等は。

A…野方ICは設置

される予定であり、計画書等も出来ている。町有地利用については企業誘致を予定しているが、現在未定である。

A…詳細について確

認する。

A…跡地利用の問題

については、地元が主体となった跡地利用検討委員会で協議し、提案を頂く計画である。

A…隼人店の状況

次第であるとの社長の見解だと伺っている。

A…地域の防災リー

ダーの育成と、防災マップの活用を促す。避難施設は必要な個所に補助事業等を活用しながら計画していく。

Q…町民税は、何

世帯の方が納めているのか。

Q…小学校の統廃

合は。

Q…議会報告会

は何班で行っているのか。参加者が増えるよう工夫を。

A…町民税の納税

義務者は、約5,600人である。

A…現段階で小学

校の統廃合はない。

A…各会場とも議員

全員で行っている。参加者が増えるよう改善していく。

Q…ニューウエーブ



野方地区の工事状況

Q…水田（稲作）の

出荷量はどれくら

Q…町の活性化に

対して